

インターミッション in 瑞西



正岡 利朗

(高松大学経営学部 教授)

Toshiro
Masaoka

今年は今まで台風が発生せず、休講を強いられることもなく実にありがたいのですが、このような年には夏以降、多数の台風が連続発生するパターンが多いとか。今回の話題はその昔訪れたスイスでの休日の思い出です。

最近、「世界最長となるゴツタルドトンネルがついに開通した」というニュースを耳にし、この名称にはなんか聞き覚えがあるなあ、との気持ちになりました。そうだ、あれは確か、2000年5月にイタリア国境に近いスイスのルガーノで国際学会が行われた時のことでした。帰りの日程の都合上、スケジュールが丸1日ばかり空いてしまい、巻頭言の執筆陣の一人である井原教授が「何をして過ごそうか、ボクはアルプスの山岳風景を見たいなあ」と軽くおっしゃるので、それでは、とばかりに夕方に駅まで走り、スイス国鉄や私鉄のドイツ語版ポケット時刻表を手に入れ、「アルプスが見え、日帰りで行ける範囲」の旅を大急ぎで組んだのです。

その旅程に従い、翌日はルガーノからスイス国鉄で1時間半のゲシェネンという駅で下車し、ここから私鉄のFO鉄道(当時)の支線に乗り換えました。1時間に1本の運転頻度なのですが、FO鉄道分の切符を購入し、付近を散策するために1本遅らせました。その後、アンデルマットに出て、ここから氷河急行が走る本線を普通列車でクール方面に向かいました。息を呑むような大パノラマが展開する中、20分ほど高度を上げると、最高地点のオーバーアルプス駅に到着しました。

ここは標高が2,000mを越えているので、5月だというのに雪がたくさん残っています。行き先はさらに1時間ほど行くディセンティスなのですが、列車は単線での交換のためにしばらく停車するようです。ちゃんとしたプラットフォームはなく、ここで井原教授に「客車タイプの列車だからドアが開きます、オトナの勇気を試すために、線路際の雪を掴んで戻っててください」とけしかけました。井原教授は「降りた途端に発車せんやろな?」とビクビクしながらも、小走りに線路に降りて、慌てて雪を手ですくって客車に戻ってきたので、当方は「よくできました、アナタは勇気があるっ!」と誉めて差し上げたのです。すると、井原教授が「次は正岡くんの番だよ」とニヤニヤしながら言うので、そろそろ交換列車が来る頃と内心焦り、「バカ言いなさい、そんなコードモッぽいことができますか!」と一蹴したことは今でもよく覚えております…。

その後すぐに、対向側からこの時期唯一の定期運行である氷河急行(当時、夏季シーズンには片道4本が運行)がやってきたのですが、天候は終日快晴、シーズンオフのローカル列車はガラガラで、車窓から残雪を抱くアルプスの雄大な風景を心ゆくまで味わい、ディセンティスの散策では修道院と高原のタンポポが満開の風景を存分に楽しみました。現地での限定された情報をもとに組み立てたプランにしては結果として上出来だったと

思います(自画自賛)。

さて、アルバムに写真とともに保管してあった当時のポケット時刻表と記憶とを照合すると、実行日は5月19日で、以下の旅程だったようです。

行き ルガーノ 9:37発→ゲシェネン 11:08着 / 12:13発→アンデルマット 12:25着 / 12:30発→ディセンティス 13:42着
帰り ディセンティス 16:18発→アンデルマット 17:30着 / 17:32発→ゲシェネン 17:47着 / 17:50発→ルガーノ 19:23着



Copyright(C) 2008 Omega Point

これらのうち、ルガーノからゲシェネンに至る国鉄線はイタリアとドイツを結ぶ重要幹線であり、ゲシェネンの直前では険しいゴツタルド山塊を長大トンネルで貫いています。このさらなる地下に建設中であった「ゴツタルドベーストンネル」が先頃開通したということで、今回、当方の記憶を呼び覚ましたわけです。そして、この稿を書くためにいろいろ知識を得たのですが、今悔やまれるのは、「実は切符は国鉄私鉄を通して買えるので、それであれば途中下車散策をゲシェネンではなく、より魅力的なアンデルマットで行うべきであった」ということです。当時も今も人口たったの千人程度のアンデルマットが実に美しい景観を保っていられるのも、観光等による「交流人口」がかなりあるからなのでしょうね。

それにしても、今思えば、乗車した路線では国鉄私鉄ともに少ない列車本数ながら相互の接続状況が実にエレガントだったです。これはたまたまラッキーだったからかというところでもなく、ほぼすべての時間帯において、わかりやすい、無駄な待ちが生じないダイヤが組まれていることに気が付きました。これについては、スイス全土をくまなくカバーしている「スイストラベルシステム」という公共交通サービスの賜であり、このシステムは全国の国鉄、私鉄、バス、観光船などの各交通関連会社が連携して作り上げたものであるということです。

このことを理解して、国内(地方)での出張や旅行の際に公共交通相互の接続の悪さに閉口している当方としては、スイスが実に魅力的に思えてきました。そこで定年退職したら、自分へのご褒美として「スイストラベルパスなどを使用し、公共交通の接続の良さを満喫しよう!」と密かに誓った次第です。

平成28年度通常総会を開催

本会は6月15日、高松国際ホテル（高松市）において会員組合等の代表者ら約110名並びに来賓多数のご出席のもと、平成28年度通常総会を開催しました。

提出議案は下記のとおりです。

- 第1号議案 平成27年度事業報告書並びに決算書承認の件（原案通り承認）
- 第2号議案 平成28年度事業計画(案)並びに収支予算書(案)承認の件（原案通り承認）
- 第3号議案 平成28年度会費承認の件（原案通り承認）
- 第4号議案 平成28年度借入金残高最高限度額承認の件（原案通り承認）
- 第5号議案 任期満了に伴う役員改選の件（次ページのとおり選任）



▲挨拶をする国東会長

議案審議終了後、国東会長より「国から委託を受け本会が窓口となっております『ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金』は今年で4年目に入り、極めて高い評価を受けております。

また、今年、本会は創立60周年を迎え、10月27日には高松国際ホテルにおいて記念式典を開催し、65周年に向かって新たな一歩を力強く踏み出す節目の年といたしたいと考えております。

最後に本会は今後とも中小企業施策の実施機関として、様々な施策に積極的な企画提案を行い、迅速かつ円滑な事業遂行によりまして、県内中小企業の振興・発展のために尽力してまいります。」と挨拶しました。

続いて来賓を代表して香川県知事浜田恵造様、香川県議会議長黒島啓様、四国経済産業局地域経済部次長久保啓二様より祝辞を頂きました。会場を移動しての懇親会では、商工組合中央金庫高松支店長植田恭弘様の乾杯の発声により、和やかな雰囲気のもと会員等の交流が図られ、盛会のうちに終了しました。

平成28年度事業の重点項目

1. 既存の中小企業組合に対する経営環境に対応した支援
2. 新規組合の設立・新連携等新たな組織化の促進
3. 小規模企業等の経営力向上、活性化支援
4. ものづくり・商業・サービス革新補助事業の支援
5. ものづくり・商業・サービス新展開支援補助事業の支援
6. 組合青年部活動に対する支援
7. 中小企業の公正な競争環境実現のための支援
8. 中小小売商業・サービス業等の活性化支援
9. 雇用・労働関係事業の推進
10. 外国人技能実習制度に関する適正化支援
11. 地域経済・産業振興支援の推進
12. 関係機関との連携・協力関係の強化
13. 政策提言活動及び広報活動の強力な推進



▲総会会場



▲懇親会の様子

香川県中小企業団体中央会役員名簿

(平成28年6月15日現在)

役職名	氏名	所属組合名	
会長	国東 照正	香川県信用組合	
副会長	八木 敏彦	全四国スレート販売協同組合	
//	合田 武	香川県鉄工事業協同組合	
//	大内 泰雄	香川県商店街振興組合連合会	
//	松永 雪夫	香川県生コンクリート工業組合	
専務理事	村井 真明	専 従	
常任理事	太田 英章	香川県臨海企業団地協同組合	
//	大峯 茂樹	本場さめきうどん協同組合	
//	川畑 政廣	香川県タクシー協同組合	
//	楠井 芳則	香川県縫製品工業協同組合	
//	太田 元	庵治石開発協同組合	
//	中川 悟	香川県管工事業協同組合連合会	
//	山下 正一	香川県電気工事業工業組合	
//	三矢 昌洋	香川県ホテル旅館生活衛生同業組合	
//	佐々木正富	建設協同組合高松総合センター	
//	増田 浩	瀬戸内食品加工協同組合	新任
理事	楠木 寿嗣	一般社団法人香川県トラック協会	
//	神原 満	川重坂出事業協同組合	
//	辻村 啓一	香川県砕石事業協同組合	
//	木下 敬三	香川県製粉製麺協同組合	
//	日下 雅彦	香川県不動産事業協同組合	
//	向井 幸司	香川県自動車整備商工組合	
//	川原 陞	香川県美容業生活衛生同業組合	
//	三好 忠廣	香川エルピーガスクリン協同組合	
//	斉藤 孝	香川県建築設計協同組合	
//	田中 邦彦	香川県食糧事業協同組合	
//	香西 幸夫	香川県建築事業協同組合	
//	岡 隆夫	香川県中古自動車販売商工組合	
//	坂本 智	香川県屋外広告美術協同組合	
//	森 茂	香川県造園事業協同組合	
//	佐々木敏晴	香川県漆器工業協同組合	
//	奥田 章雄	香川県印刷工業組合	
//	津村 潤治	協同組合日専連高松	
//	福岡 秀之	赤帽香川県軽自動車運送協同組合	
//	真鍋 道雄	香川県農機具商工業協同組合	
//	友國 誠二	日本手袋工業組合	
//	浜本 哲夫	小豆島調理食品工業協同組合	
//	篠原 公七	香川県火災共済協同組合	新任
//	石田 剛	香川県家具商工業協同組合	新任
//	森 健作	小豆島手延素麺協同組合	新任
//	国東 宣之	香川県石油商業組合	新任
//	土居 正明	中央会青年部会長	
監事	大塚 成和	香川県中央コンクリートブロック協業組合	
//	和泉 一郎	仕出し協同組合スプリング	
//	長居 亮三	高松エルピーガス販売協同組合	

会長1名、副会長4名、専務理事1名、常任理事10名、理事26名、監事3名 (順不同敬称略)

中央会だより 2

良質な求人確保・拡大、職場環境等に関する協力要請

6月1日、本会に対して、香川県知事、香川労働局長、香川県教育委員会教育長、四国経済産業局長の連名で、良質な求人確保・拡大、職場環境等に関する協力要請がありました。

本県の経済情勢は、個人消費は持ち直しており、設備投資も底堅く推移するなど、緩やかな回復が続けております。雇用情勢につきましても、4月の有効求人倍率は1.61倍、正社員の有効求人倍率も1.03倍と高水準を維持しており、雇用情勢は改善しております。

一方で、若者が職場に定着できず早期離職している現状や、非正規雇用者が雇用者の3分の1を超え、不安定な雇用形態により経済的に自立することが難しい労働者が増加している状況があります。さらに、厚生労働省が実施したアルバイトに関する意識等調査において、全国で労働基準法令違反のおそれがある回答や、学業との両立が難しい環境におかれた学生のアルバイト実態が浮き彫りになるなど、様々な課題があると認識しております。

今回は、このような状況を踏まえ、本会を始め、香川県商工会議所連合会、香川県商工会連合会、香川県経営者協会の商工4団体に対し地域経済の維持・回復に向けた雇用対策を推進するため、良質な求人確保・拡大、職場環境等について協力を要請するものです。

つきましては、会員組合等におかれましては、傘下事業所に次の事項をご周知いただきますようご協力をお願いいたします。

- (1) 良質な求人確保・拡大について
- (2) 積極的な人材育成と職場定着について
- (3) 女性の活躍促進など多様な人材の雇用・活用について
- (4) 学生アルバイトの労働条件の環境整備について



▲要請書を受け取る国東会長（右）

中央会だより 3

ものづくり補助金 採択事業者説明会を開催



▲新ものづくり支援室・佐竹アドバイザー

本会は、6月14日、ホテルパールガーデン（高松市）において、平成27年度補正「ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金」に係る採択事業者説明会を開催し、今回採択となった企業等から約140名が出席しました。

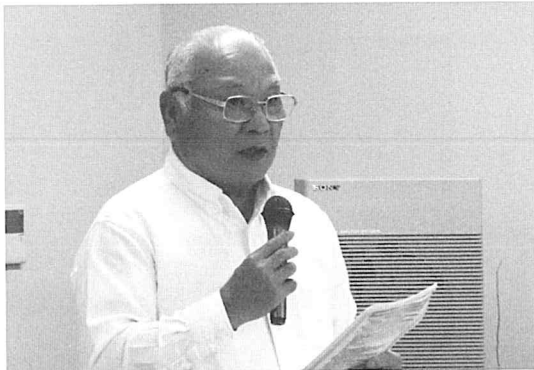
はじめに、同補助金の香川県地域事務局・丸山事務局長より「採択企業の皆さま方には、今回の説明を参考に書類作成等事務処理にご留意いただき、本事業を計画に沿って円滑に実施し、施策の目的である経済活性化に繋げていただきたい」と挨拶がありました。

続いて、本事業を担当する新ものづくり支援室・佐竹アドバイザーほか担当者が今後の補助事業の流れや事業実施上の留意事項について詳細な説明を行った後、質疑応答に入りました。

この補助金支援については、国の平成27年度補正予算で国内外のニーズに対応したサービスやものづくりの新事業を創出するため、認定支援機関と連携して、革新的なサービス開発・試作品開発・生産プロセス改善を行う中小企業・小規模事業者の設備投資等を支援します。

なお、採択件数は、全国で7,729件、その内、香川県内採択数は83件となりました。

香川県外国人技能実習生受入組合連絡協議会が通常総会を開催



▲挨拶をする楠井協議会会長

香川県外国人技能実習生受入組合連絡協議会は、6月24日、中央会研修室（高松市）において平成28年度通常総会を開催し、組合関係者ら約30名が出席しました。

平成27年度事業報告・収支決算、平成28年度事業計画・収支予算、平成28年度会費の賦課額及び徴収方法についての審議が行われ、原案どおり承認可決されました。

議案審議の後、来賓として高松入国管理局の河村首席審査官をはじめ、香川労働局、四国経済産業局、香川県、香川県警察本部、（公財）国際研修協力機構より挨拶並びに外国人技能実習生受入組合が留意すべき事項についての説明がありました。

本協議会は組合が実施する「外国人技能実習生共同受入事業」の本来の目的である開発途上国の人材育成協力という視点に立ち、実習生の秩序だった受入れ、技能向上など、本事業の適正な運営を推進することを目的に実習生受入事業に関する情報交換会・意見交換のための会議の開催、広報活動の実施、セミナーや講習会の開催、調査研究等を実施しております。

FROM青年部

平成28年度通常総会を開催 ～新会長に木村氏(香川県板金工業組合)が就任～

6月29日、本会青年部はオークラホテル高松（高松市）において青年部会員約50名と来賓多数出席のもと、平成28年度通常総会を開催しました。

総会では、土居正明青年部会長より「異業種団体という本会青年部組織の強みを活かした事業を展開していきたい」との挨拶、並びに10月30日（日）に高松南部商店街三町ドームにて開催する『第3回さめき産shokuフェスタ～中央会青年部まつり』の案内がありました。

その後、議案の審議が行われ平成27年度事業報告・決算報告、平成28年度事業計画・収支予算など、全議案が満場一致で承認されたほか、新役員を選任に伴う正副会長の交代があり、新会長には木村一夫氏（香川県板金工業組合）が選任されました。

続いて来賓を代表して香川県審議監工代祐司様、四国経済産業局産業部中小企業課長岸本哲郎様、本会青年部顧問鎌田守恭様より祝辞を頂きました。

会場を移し、商工組合中央金庫高松支店長植田恭弘様の乾杯の発声により、懇親会が開催され、長年にわたり会長を務められた土居正明氏に本会村井専務理事から感謝状と記念品の贈呈が行われるなど、和やかな雰囲気のもと、情報交換とともに会員相互の懇親を深められました。



▲土居前会長（左）と木村新会長（右）

香川県中小企業団体中央会青年部 正副会長名簿

（平成28年6月29日現在）

- 会 長 木村 一夫（香川県板金工業組合）
- 副会長 請川 和豊（香川県中古自動車販売商工組合）
- // 十河 孝浩（香川県電気工業工業組合）
- // 大野 勝彦（香川県テントシート工業組合）
- // 太田 武志（庵治石開発協同組合）
- // 清田 大祐（中讃建設業協同組合）
- // 秋本伸一郎（香川県ディスプレイ協同組合）

NEWS

1

木工技能者の技キラリ

香川県アースリウッド協同組合

香川県アースリウッド協同組合は5月23日から27日まで香川県庁本館1階ギャラリー（高松市）において恒例の香川県建具技能作品展（「さめきたてぐ祭」）を開催しました。

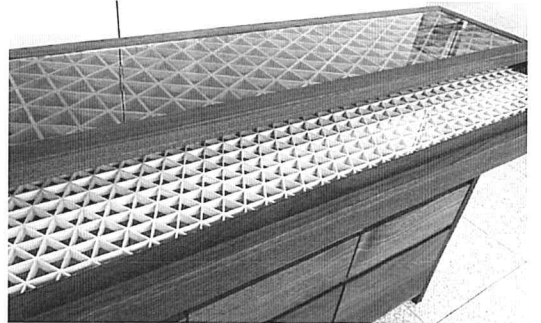
この作品展は、木工技能者の技能向上を図るとともに、県民に建具の「木の温かみ、香り、良さ」、また、技術を披露しPRするために、昭和63年から毎年続けられており、今年で28回目を迎えました。

27日には入賞作品の賞状授与式が行われ、香川県中央会会長賞として有限会社森本建具店・中村和彦氏の「チェスト」が受賞されました。この作品は、上部に三方から60度交わる正三角形で構成される「三つ組手」という技法を用い、同じデザインのもの上下でサイズを変えることにより、重なった部分がまた別の模様になる設計がされています。また、引き出しにはウォールナットという高級素材を使用しており、シンプルかつ高級感のある作品となっています。

その他、会場には県内組合員が伝統の技術を駆使した組子障子やデザイン性を重視したドアなど34点が並び、来庁者の目を楽しませていました。



▲作品展の様子



▲伝統的技法「三つ組手」を用いたチェスト

NEWS

2

水に親しみ 感謝の気持ちを

三豊市上下水道工事業協同組合

三豊市上下水道工事業協同組合は5月29日、三豊市市民交流センター（三豊市豊中町）で「第5回みとよ水フェスタ2016」を開催しました。

6月1日～7日まで「じゃ口から 安心とどけ 未来まで」をスローガンとした第58回水道週間ということで、もっと身近に、水道について知ってもらいたい、そして楽しんでもらいたいと毎年この季節に水のことを知る機会として開催されています。

ステージイベントでは、ダンス・よさこい連・和太鼓など様々な催しが、出展ブースでは、水道相談や節水コマの無料配布、うどん・黒にんにくカレーなどのバザーが行われ、多くの来場者で賑わいました。

組合ブースにおいて、水道パイプで水鉄砲を作製するコーナーを設け、集まった子ども達は、組合員に教えてもらいながら自分だけのオリジナル水鉄砲を作製し、夢中になって遊んでいました。

また、今年は、「防災」という視点からの体験&ブース出展も多く、来場者はあらためて災害時における備えの必要性、日常生活の中であたりまえとなっている水の大切さ、ありがたさについて感じていました。



▲大盛況の水道パイプによる水鉄砲作り



▲地震体験車によって震度7クラスの揺れを体験

香川オートバイ事業協同組合は多くの方々にバイクを通じた様々な楽しみを共有していただき、モーターサイクル文化の発展を目指し、6月4日、5日に国営讃岐まんのう公園（仲多度郡まんのう町）において「第3回香川モーターフェスティバル in まんのう～四国最大のオートバイイベント～」を開催しました。

プロライダーによるジャンプでのトリック（アクション）の完成度を本格的に競う「FMX（フリースタイルモトクロス）」をはじめ、高低差や傾斜が複雑に設定されたコースをいかにバイクに乗ったままで走り抜けることができるかを競う「トライアル」等のデモンストレーションが行われた他、飲食店を含めた物販、展示ブースなどが展開されました。

来場者はスピード感たっぷりの迫力あるスタントパフォーマンスにバイクの楽しさ、格好良さ、プロライダーの技術の高さなどを肌で感じていました。



▲迫力あるスタント披露



▲曲技を披露するプロライダー

6月11日、12日にサンメッセ香川（高松市）において、協同組合庵治石振興会主催により「庵治ストーンフェア2016」が「地球の恵みを磨く、庵治石～石に祈りを～」をテーマに開催されました。

高松市庵治、牟礼地区を中心に石材業者など約120社が参加し、会場では墓石や灯籠などを中心に展示即売が行われ、箆置きや傘立て、電球を仕込んだ石あかりなど、生活に密着した製品も並び、また、石材を使った子ども向けのワークショップも賑わっていました。

今回は、メインイベントとして原石から墓石になるまでの過程の企画展が行われ、採掘から切削、研磨などを経て墓石になるまでの流れを製作途中の製品や実際の道具などを展示して説明されていました。

その他、法相宗大本山薬師寺の執事大谷徹英氏より「幸せの条件～ご先祖さまと共に生きる～」と題した法話会や毎年高い人気を誇る「庵治石大丁場見学ツアー」、地元の石工ヒーロー「石匠庵神レムジアショー」など趣向を凝らした催しも実施されました。

多くの家族連れらが来場し、石の持つ魅力や伝統の技を生かした製品などに見入っていました。



▲伝統の加工技術に加え、新しい創意と工夫を凝らした製品が並び



▲今回初めて実施された企画展





為替不安や地震の被災の影響により、 先行き不透明感は依然として増大している。

2016年5月

Industry Information

製造業	食料品 	<ul style="list-style-type: none"> ●今のところ天候にも恵まれ、販売数量は前年並みでないかと思われる。(製粉製麺) ●出荷高は、前年同月比105.9%であった。(調理食品) ●円高による為替変動により、製品価格の見直しを求められるケースが出てきている。しかしながら、現在のところ原材料仕入価格変動による製品価格見直しは困難な状況であり、金融市場と食品業界の現状との間に大きな齟齬が発生している。今後の両面の動向に注視する必要がある。(冷凍食品)
	繊維・同製品 	<ul style="list-style-type: none"> ●春夏用UV手袋は昨年、一昨年为天候不順のため、在庫が多く残っており、今年の暑さも販売には寄与できていない。また、100均ショップでのUV手袋の販売も影響がでている。秋冬物手袋の受注時期になったが、3年連続の販売不振の影響で在庫が多く残っており、先行きが不透明である。(手袋)
	木材・木製品 	<ul style="list-style-type: none"> ●製材、市場、プレカットともに対前年と変わらず、総じて上向き傾向にある。製材は、入荷・出荷とも前年並み。市場は、売上は前年並みであるが、材木の荷動きがやや上向き。プレカットは前年並み。(製材) ●住宅着工数が低迷し、木材価格は横ばいで、在庫が残り、いつでも購入可能なため、消費意欲も低下し、なかなか業況は上向かない。(木材)
	印刷 	<ul style="list-style-type: none"> ●消費税再延期正式表明による波紋がどのように作用するのか不透明ではありますが、多方面からの影響を受け易い業界としましては、今後の動向を注視しております。(印刷)
	窯業・土石製品 	<ul style="list-style-type: none"> ●地区内の販売価格は上昇しているが、仕事量が前年比8割と減少。事業継続には更なる価格の見直しが必要となる。好材料としては、東部地区、三豊地区が共販活動を維持、進展傾向であること。(生コンクリート)
	鉄鋼・金属製品 	<ul style="list-style-type: none"> ●やや円高に振れていることが、輸出に悪影響を及ぼすと考えられるので、当業界への受注量減少が懸念される。原油安も加わり、早く原材料の値下げがくることを期待するところである。(鍍金)
	一般機器 	<ul style="list-style-type: none"> ●プラント機器の製造は、円安の影響により、中国、韓国向けの受注が継続している。設備用の熱交換器は価格において、これまで底値に近い状況であったが、取引条件の見直しを粘り強く進めた結果、製品単価は明るさが出てきた。造船関連機器製造業は、一時の落ち込みから脱し、船舶の環境規制強化を控え、駆け込み需要が膨らみ、3年分近くの仕事量を確保し、当面は受注分の工事量を消化することになる。しかし、前年度下期より、これまで円高是正で好調であった受注が中国経済の減速や資源安に伴うバラ積み船の過剰感の影響から新規受注は減少してきた。造船業及び造船関連機器製造業は今後の景気動向によっては中国、韓国との受注競争の展開がより厳しくなる恐れが予想される。建築用鉄骨の下請け加工業は、本年上期から徐々に仕事量が増えており、昨年同期に比べ大幅に増加している。特に地場産業の発注工事だけに留まらず県外からの仕事が増えており、ここ数ヶ月はフル生産が続くことになる。問題は人手不足であり、地方との賃金格差により従業員が首都圏に流れていく。中でも溶接工、機械工といった技能労働者は求人難が著しい状況にある。産業用機械製造業メーカーは、中国をはじめとする新興国経済の陰りから、円高・株安が進み、世界需要の伸び悩みが伺われるが、国内需要は震災復興需要やインフラ整備投資の増加で建設機械の生産は前年同期並みに推移しており、産業用機械部品加工業の中小零細工場は工事量も多く売上、収益ともに好調である。(一般産業用機械・装置)
	輸送用機器 	<ul style="list-style-type: none"> ●時間単価の話も落ち着き、工事量、人員ともに安定しています。(造船)
その他 	<ul style="list-style-type: none"> ●各会員とも動きは出てきたが、相変わらず大口受注は減少傾向にある。なお、丸亀うちわの「竹うちわ」の製作職人が急速に減少しており、大きな問題となっている。(団扇) ●5月恒例の「香川の漆器と家具新作見本市」は、5月18、19日は業者対象、20～22日は一般対象で開催された。来場者は業者、一般共に去年より18%程減少した。販売額も昨年より減った。国内景気の落ち込みや4月の熊本地震の影響があったものと思われる。(漆器) ●5月の業況は、前年同月と比べて40%のマイナスとなりました。前月後半から落ちていた売上が上昇せず、とても残念なことになりました。消費税10%への引き上げを2019年10月まで延期だけでなく、2014年4月の8%で経済が失速してしまったのだから、5%に戻せば瞬間に日本経済は復活すると思います。(綿寝具) 	

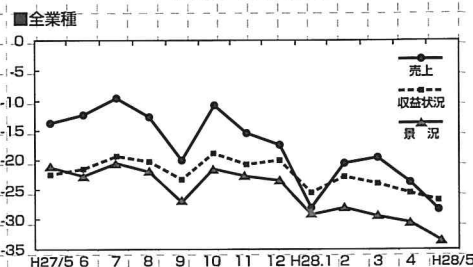
5月の県内景況は、前年同月と比べて業界の景況DI値は-35.4ポイントで前月調査の-31.2ポイントから4.2ポイントの悪化となった。その他の主要指標のDI値においては、売上高DI値は-35.4ポイントで前月調査の-39.6ポイントから4.2ポイントの改善、収益DI値は-33.4ポイントで前月調査の-37.5ポイントから4.1ポイントの改善となった。継続する為替不安や熊本地震の被災の影響により、中小企業の先行き不透明感は依然として増大している。

非製造業	小売業 	<ul style="list-style-type: none"> ●生産量の増加により、市場への入荷が多く、売上では前年を上回ったが、価格安となり利益はあまり上がっていない。(青果物) ●大手の系列店仕入れ価格はレギュラーガソリン111円(税込み)なのに対し、小売価格は平均117円余りと、大幅な減益状況が続いた。3~4月にかけて、中小SS(個人含む)の廃業が2件発生しており、今後も続くものと予測される。雇用状況は、アルバイト募集が難しくなっており、人材派遣に頼る事業所が増えている。(石油) ●ブラジルのリオオリンピック開催までに4Kテレビの買い替えを期待しているものの、目立った動きは見られない。今夏は猛暑が予想されており、エアコンに期待している。家電業界は今も冬眠から目を覚ましていない状況です。(電機)
	商店街 	<ul style="list-style-type: none"> ●ゴールデンウィークも多くの人出でにぎわったが売上には人通りほどの勢いは感じられず苦戦している。特に宝飾品や高級時計等の売上にブレーキがかかり始めている。株価の回復が望まれる。インバウンドの客は着実に増えているが、実需につながっていない。しかし、一部の飲食店では台湾や上海へ情報発信することで誘客に成功している。消費税増税の先送りが決定したが景気が上向く材料にはならない。所得や資産価値の向上につながる政府施策に期待している。(高松市) ●5月の連休も昨年より悪く、連休明けもどの業種も悪いようです。「売れない」、「ひま」などの言葉が挨拶です。近隣の百貨店の「全国うまいもの展」では、少し人通りも増えたように感じましたが、個々の店の増収にはつながりませんでした。当商店街においては、5月連休明けに立体駐車場のタッチパネルが故障して、ストップしてしまいました。3月末の決算で完全に赤字。売上も年々落ち込み、頭の痛い問題です。駐車場が建設された頃には近くに駐車場も少なく利用者も多く順調でしたが、年々、空き家が解体され平地の駐車場になり、利用しやすい平地駐車場に客を奪われました。5月末の総会において立体駐車場を閉めることが決定。しかし、高度化資金返済において不足金を組合員に借り入れており、今後どのように返済していくのか大変です。(高松市) ●商店街に長らく空き店舗だった洋装店跡地にデイサービスが入居し、デイサービスと喫茶を始める。その2階部分に元町名店街の「わはは広場」が7月に移転する。(坂出市) ●相変わらず街はガラーンとしている。特に高齢者の間では、「欲しいモノがない」という声が聞かれる。「新しい需要」を開発しなければいけないが、難しい。(丸亀市)
	サービス業 	<ul style="list-style-type: none"> ●受注については順調に推移している。(ディスプレイ) ●5月は、前年同月より6%増であった。5月は、昨年と比較し、工事関係が多く、その関係で増加した。全般的に8月が忙しく予約は入っているが、その反動か、6月、7月は微増で推移しそうである。(旅館) ●大きな変化はありません。受注先は、やはり県外、東京が多い状況です。また、IoT等の新しい動きがあります。(情報) ●本年度も非組合員との差別化のため、訪問美容、まつげエクステ師養成講習会を開催いたします。(美容)
	運輸業 	<ul style="list-style-type: none"> ●地方景気回復の遅れ、消費税率引き上げを運賃転化したことなどにより、運賃収入、輸送人員が減少しており、厳しい経営環境にある。また、乗務員不足が深刻化するとともに、高齢化が進んでおり事業継続が懸念されている。(タクシー) ●平成28年4月分高速道路通行料金の対前年同月比は1.5%増となり、対前月比ではマイナス4.4%の減であった。また、4月分利用車両数の対前年同月比は、0.8%増となった。(トラック) ●荷動きは、まあまあと聞いているが具体的には聞かされていない。燃料価格について大きな動きあり。5月30日と6月1日のSS店頭表示価格を比べると過去13週連続で(1週横ばい含む。)小幅ながら値上がりが続けてきたが、更に大きく値上げされている。5月も急上昇する要素が見当たらない。6月以降の燃料費が気にかかる。(貨物)

香川県内の業種別DI値の変化 (対前年同月比)

	売上高	収益状況	業界の景況	
製造業	食料品			
	繊維・同製品			
	木材・木製品			
	印刷			
	窯業・土石製品			
	鉄鋼・金属製品			
	一般機器			
	輸送用機器			
	その他			

全国集計によるDI値の推移 (対前年同月比)



※集計結果の詳細は、本会ホームページ上でご覧になれます。
<http://www.chuokai-kagawa.or.jp/>

かがわ中小企業応援ファンド ～平成28年度後期事業募集のご案内～

(公財)かがわ産業支援財団では、平成19年度に造成した「かがわ中小企業応援ファンド」を活用して、中小企業者や地場産業関係組合等が行う、研究開発、販路開拓、人材育成などの新たな取組みを総合的に支援しています。

I. 新分野等チャレンジ支援事業

県内中小企業者等の取り組む新分野進出のための商品・研究開発や、市場性を見極めるための試作品作成、付加価値の高い新製品開発のための実証試験、新事業の可能性評価等を支援することにより、新分野等へのチャレンジを応援します。

■募集期間

平成28年6月13日(月)～平成28年7月29日(金) 必着

■助成対象者

県内に主たる事業所を有する中小企業者又は中小企業団体

- #### ■助成対象事業
- (1) 新分野進出のための商品・技術の開発
 - (2) 市場性を見極めるための試作品作成
 - (3) 付加価値の高い新製品開発のための実証試験
 - (4) 新事業の可能性評価
 - (5) 技術課題の解決

■助成対象経費

<研究開発費>

- ・原材料費(原材料及び副資材の購入に要する経費)
- ・機械装置・工具器具費(機械装置等の購入、製造、改良、借用等に要する経費)
- ・外注加工費(原材料の再加工等に要する経費)
- ・試験検査費(試験機関等で分析試験、検査等を行う経費)
- ・産業財産権取得費(特許出願、特許権取得費用等)
- ・委託費(研究開発の一部を委託する経費(委託・共同研究、システム開発等))
- ・謝金(専門家謝金、技術指導謝金)
- ・旅費(専門家旅費、職員旅費)

<市場調査及び見本市出展にかかる経費>

- ・市場調査費(市場調査、分析に要する経費)
- ・国内見本市出展費(会場借料、会場設営費、製品・パンフレット等輸送費等)
- ・委託費(市場調査費及び国内見本市出展費の一部を委託する経費)
- ・謝金(専門家謝金、技術指導謝金)
- ・旅費(専門家旅費、職員旅費)

■助成率と助成額

助成率：4/5以内 助成額：50万円以上100万円以下

■助成の対象となる事業の期間

平成28年10月1日から平成29年9月30日まで(最長1年間)

■採択の基準 次の各項目について審査を行い、採択を決定します。

①新規性・革新性 ②市場性 ③成長性 ④実現可能性 ⑤地域活性化への波及効果

■採択予定件数 6件程度

■問合せ・申込先等

〒761-0301 高松市林町2217-43

(公財) かがわ産業支援財団地域共同研究部 瓜生

TEL 087-869-3440 FAX 087-869-3441

II.地域企業国内販路開拓支援事業(県外見本市出展支援)

新製品、新サービスや新技術で大都市圏進出や全国展開を目指す中小企業者等に対し、見本市等への出展を支援することにより、業務提携や販路開拓を応援します。

■募集期間 平成28年6月13日(月)～平成28年8月5日(金) 必着

■助成対象者

(1) 県内に主たる事業所を有する中小企業者又は中小企業団体

(2) 上記要件を満たす複数の者が共同して出展する場合の複数企業又は中小企業団体

■助成対象事業

自社で開発した新製品、新サービス、新技術、機械部品、材料・加工技術等を、県外で開催される見本市等に出展する事業対象となる見本市等は、平成28年10月から平成29年3月末までに開催されるもの。

■助成内容

基本小間の借上料(1小間に限る。基本小間の借上料に小間設営費が含まれる場合は、その経費を含む。)

※1件につき50万円を上限とします。

※商品輸送費等、上記以外の出展経費については、支援対象者の負担です。

■助成対象の見本市

出展者が希望する県外見本市(平成28年10月から平成29年3月末までに開催されるもの。)

※ただし、平成29年4月以降に開催されるものであっても、助成対象経費の一部又は全額の支払期限が平成29年3月末までのものは対象とします。

■採択の基準 次の各項目について審査を行い、採択を決定します。

①出展の目的・妥当性 ②新規性 ③市場性 ④安全性・信頼性 ⑤企業業績と体力

■採択予定件数 15件程度

■問合せ・申込先等

〒761-0301 高松市林町2217-15

香川産業頭脳化センタービル2階

(公財) かがわ産業支援財団企業振興部取引支援課 小畑

TEL 087-868-9904 FAX 087-869-3710

事業の詳細及び申請書様式等は、(公財) かがわ産業支援財団ホームページ
(<http://www.kagawa-isf.jp/>) をご確認ください。

商工中金だより

グローバルニッチトップ支援貸付のご案内

貸出条件概要 10年期限一時返済・金利成功払い型

ご融資期間	原則10年
返済方法	期限一時返済
ご融資利率	成功払い(不成功の場合 0.6%、成功の場合 当金庫所定の利率)
利払い方法	1、3、6ヶ月毎のいずれか(前払)
ご融資限度額	5億円
期限前弁済	原則不可
資金使途	出資金、親子ローン、設備資金、研究開発費
海外事業計画	海外事業計画書の作成が必要です。ご提出いただいた海外事業計画書は、商工中金に設置しているグローバルニッチトップ企業認定委員会における認定が必要です。
適用金利条件	適用金利は、事業の成否に応じた「成功判定」に基づく、1年毎の変動金利とします。
決算書のご提出と金利改定について	●成功判定(金利改定)のため、年一回決算書の提出をお願いいたします。 ●海外事業計画の期間中は、決算書に加えて「事業進捗報告書」もご提出いただけます。

なお、詳細につきましては、商工中金高松支店までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】
株式会社商工組合中央金庫 高松支店
〒760-0028
高松市鍛冶屋町3番地
TEL.087-821-6145
FAX.087-851-6074

日本政策金融公庫だより

● 融資制度のご案内 ●

下記掲載は融資制度の一部ですので、詳しくは各事業までお気軽にお問い合わせください。

○創業支援貸付利率特例制度の概要(国民)

融資対象者	創業前および創業後1年以内の方
資金使途	各貸付制度に定める資金使途
融資限度額	各貸付制度に定める融資限度額
融資期間(据置期間)	各貸付制度に定める融資期間及び据置期間
利率	「各貸付制度に定める利率-0.2%」。 ただし、次のいずれかに該当する方については、「各貸付制度に定める利率-0.3%」 1 女性または若年者(30歳未満) 2 Uターン等により地方で創業する方

○新事業活動促進資金の概要(国民、中小)

融資対象者	「経営革新計画」の認定を受けた方、「新連携計画」の認定を受けたプロジェクトに係る連携体を構成する方、経営多角化、事業転換などにより、第二創業を図る方など ※事業承継を契機に、新たに第二創業(経営多角化・事業転換)を図る方または新たな取組みを図る方を追加
資金使途	設備資金、運転資金
融資限度額	【国民生活事業】7,200万円(運転資金は4,800万円) 【中小企業事業】7億2,000万円(運転資金は2億5,000万円)
融資期間(据置期間)	設備資金 20年以内(2年以内) 運転資金 7年以内(3年以内)
利率	基準利率 ただし、一定の要件に該当する方については、利率を低減 ※事業承継を契機に、新たに第二創業(経営多角化・事業転換)を図る方または新たな取組みを図る方については、「基準利率-0.65%」(中小企業事業のみ2億7,000万円上限(運転資金は2億5,000万円上限))

○HACCP資金(食品産業品質管理高度化促進資金)の概要(農林)

融資対象者	食品の製造または加工の事業を行う中小企業者(協同組合等を含む)
資金使途	HACCP導入やその前段階の衛生・品質管理のために必要な設備資金 上記に併せて支出される、施設の円滑な立上げに必要な、システム開発費等の費用(特別の費用等) (指定認定機関の認定を受けた高度化計画または高度化基盤整備計画に基づく事業)
融資限度額	事業費の80%以内または20億円のいずれか低い額
融資期間(据置期間)	10年超15年以内(うち3年以内)
利率	ご融資額 2億7千万円以下 0.25%~0.55%(※) 2億7千万円超 0.40%~0.70%(H28.4.20現在) (※)資金使途により2億7千万円超の金利が適用になるケースがあります。

〈支店窓口〉

株式会社 日本政策金融公庫 高松支店 (URL:<http://www.jfc.go.jp>)

〒760-0023 高松市寿町2-2-7 いちご高松ビル 2・3階

国民生活事業(2階) Tel.087-851-0198 Fax.087-822-9274
中小企業事業(3階) Tel.087-851-9141 Fax.087-822-1423
農林水産事業(3階) Tel.087-851-2880 Fax.087-822-7350

厚生労働大臣認定の

「くるみん」「プラチナくるみん」マークを受けましょう

■認定制度とは

行動計画を策定し、その行動計画に定めた目標を達成するなどの一定の要件を満たした場合、申請を行うことにより、「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣（都道府県労働局長へ委任）の認定を受けることができます。認定を受けた事業主は、次世代認定マーク（愛称：くるみん）を、商品、広告、求人広告などにつけ、子育てサポート企業であることをアピールすることができます。

■認定基準について

認定を受けるためには、行動計画の計画期間が終了し、認定基準を全て満たすことが必要です。

■次世代法の認定を受けた事業主に対する税制優遇措置について

事業主が次世代育成支援対策推進法の認定を受け、「くるみん」もしくは「プラチナくるみん」を取得した場合、その事業主に対する税制優遇（割増償却）制度、いわゆる「くるみん税制」があります。

■プラチナくるみん

くるみん認定企業のうち、より高い水準の取組を行った企業が、一定の要件を満たした場合、必要書類を添えて申請を行うことにより、優良な「子育てサポート企業」として厚生労働大臣（都道府県労働局長へ委任）の特例認定（プラチナくるみん認定）を受けることができます。

■お問い合わせ先

香川県中小企業団体中央会・連携支援部（次世代育成支援対策推進センター）TEL：087-851-8311



▲特例認定マーク（プラチナくるみん）

● 厚生労働省からのお知らせ ●

毎月勤労統計調査特別調査についてお願い

厚生労働省では、本年7月31日現在で、常用労働者を1～4人雇用している事業所を対象に、毎月勤労統計調査特別調査を実施します。

この調査は、1～4人の常用労働者を雇用する小規模事業所における賃金、労働時間及び雇用の実態について全国及び都道府県別に明らかにすることを目的に実施しており、調査結果は、小規模事業所の実態を示す資料として最低賃金の改定審議等に使用されています。

調査対象となる事業所には、8月から9月にかけて統計調査員が訪問し、調査事項についてお伺いして調査票を作成いたします。

調査票に書かれた内容は、「統計法」により厳しく秘密が守られます。また、統計以外の目的に用いられることも固く禁じられています。

ご多忙のこととは存じますが、調査の重要性をご理解いただき、調査にご回答いただきますようお願いいたします。

◆詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください◆

トップページ → 統計情報・白書 → 各種統計調査 → 厚生労働統計一覧 → 7.雇用 → 毎月勤労統計調査

<http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/30-1.html>

BOOK RANKING 県内ベストセラー



順位	書名	著者	出版社/定価
1	キンビール高知支店の奇跡	田村潤	講談社/842円
2	天才	石原慎太郎	幻冬舎/1,512円
3	ポイズンドーター・ホーリーマザー	湊かなえ	光文社/1,512円
4	言ってはいけないー残酷すぎる真実ー	橘玲	新潮社/842円
5	夜を乗り越える	又吉直樹	小学館/886円

香川県書店商業組合調べ

有利

掛金は全額非課税
手数料もかかりません。

安全

国の制度だから安心
掛金の一部を国が助成します。

簡単

社外積立で管理もラクラク
退職金試算額などをお知らせします。

中退共

CHU-TAI-KYO

退職金は直接退職者に
支払われます。

お近くの金融機関等の
窓口でお申込みください。

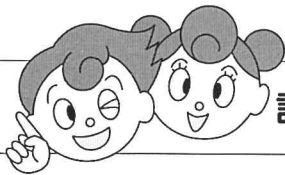
パートタイマーさんも
家族従業員も加入できます。

掛金は、従業員ごとに
16種類から選択できます。

転職先でも引き継げる
「通算制度」があります。

「よし、やるぞ！」の一体感。

働く人が元気な会社。中退共が応援します。



詳しくはホームページをご覧ください。

中退共

検索

お気軽にお問合せください

(独)勤労者退職金共済機構
中小企業退職金共済事業本部

〒170-8055 東京都豊島区東池袋1-24-1
TEL.03-6907-1234 FAX.03-5955-8211

ご活用ください。 産業雇用安定センター

当センターは、厚生労働省と経済・産業団体の協力により設立された公益法人で、「失業なき労働移動」実現にむけて、全国ネットで出向・移籍等の支援業務を行っています。

会社間の人材移動

雇用の拡大

事業の拡大・組織の強化等

雇用の縮小

事業の再編・縮小・閉鎖等

無料の職業紹介

情報提供・相談・斡旋の
費用はかかりません。

- 人材の受入（途中採用）や人材の送出（雇用調整による再就職支援など）をご検討の企業様からのご相談をお待ちしています。
- 離職を余儀なくされる方に、ご希望をお聞きし求人開拓を行い再就職のお手伝いをいたします。

●お問い合わせは

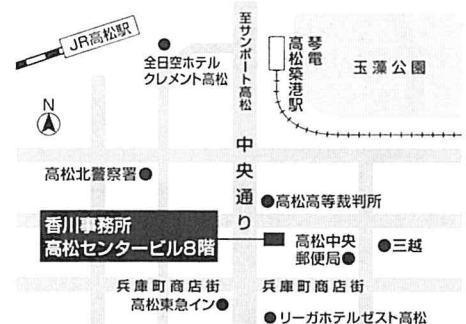


公益財団法人 産業雇用安定センター 香川事務所

〒760-0023 香川県高松市寿町2丁目4-20（高松センタービル8階）

TEL.087-851-1011
FAX.087-851-1014

ご利用時間
9:00~17:00
（土・日・祝日は除く）



URL <http://www.sangyokoyo.or.jp/> E-mail kagawa-j2@sangyokoyo.or.jp 左記のセンターホームページでは求人情報を提供しています。